



Go West!

佐賀県立唐津西高等学校

学校だより NO.18 R5.1.16

【建学の精神】朝（あした）に希望 タベに感謝

文責 学校長 下村 昌弘

E-Mail shimomura-masahiro@education.saga.jp

おさらい 二番目の悪者は誰だ？ —『二番目の悪者』林木林作、庄野ナホコ絵（小さい書房）—
年末の話を蒸し返して申し訳ないが、もう一度聞きたいという相談を珍しく受けたのでここで取り上げさせてもらいたい。物語の粗筋は以下のとおり。

ある国に金のライオンがいた。金のライオンは次の王様になりたいと思った。

しかし、気がやさしく働き者の銀のライオンの方が動物たちの信頼を集めていた。

見栄っ張りで嫉妬深い金のライオンは銀のライオンが腹立たしくて仕方ない。

そこで、金のライオンは根も葉もない銀のライオンの悪口を言い立てた。

「銀のライオンがそんなことをするわけない！」と否定する動物もいたが、特に悪

気もなく伝聞され、噂が噂を呼び、「実は銀のライオンは乱暴者だ！」という噂が次第に真実味を帯びていく。

銀のライオンは誤解はいつか解けるだろうと苦笑い。何も言わなかった。

その後、国の王様を決める投票があり、思惑どおり王の座を獲得した金のライオンだったが、金のライオンはわがまま放題の政治を行ったため、国はやがて荒廃していった。



“意味深”なタイトル。では一番目の悪者は誰だろう？ やっぱり悪意の噂をばらまいた金のライオンか。とすると二番目の悪者は？ 結果的に噂を拡散した多くの動物たちか？ いや、悪い噂を流されても何も言わなかった銀のライオンも悪者と言えないか？

この絵本はもちろん安易な流言蜚語を戒める内容を基調としている。事実を確かめもせず人の噂を横流しする一般大衆の罪。物言わぬ人間の批判、あるいはネット社会への警告。

この話を読んで私は地球市民の会の古泉志保氏のことを思い出した。（Go West! 14号）

氏は本校での講演後、私との雑談の中で「実は自分は学校が好きではなかった」と仰った。しかしたった一つ先生から言われた言葉が自分の背中を押してくれて発展途上国への旅に出たと言う。それは「今立ち上がらないで、いつ立ち上がるのだ」という言葉だそう。

氏は講演の合間合間に「誰か質問はない？ 何か意見はない？ 勇気をもって発言して」と再三再四、フロアの生徒たちに促された。「遠慮がちな生徒たちの反応に、イライラされたのではないですか」と私が尋ねた時にこのエピソードを聞いたのである。

言うべき時に言わないのはもちろん悪い。しかし、言おうともしないでそこにいることはもっといけないことなのかもしれない。

講演の最後に一人の生徒が勇気をもって質問した。素晴らしかった。

合わせて私の高校時代の授業の一コマ。物理の先生が内職している友人を注意した。友人は言った。「僕は受験で要りませんから」。先生は怒鳴った。「お前は考えることを放棄するのか！」。

自分の頭で考えること。これが一番尊い。本当に悪いのは“考えない自分”なのかもしれない。考える習慣を捨ててはならない。これが3学期始業式に一番伝えたかったことだ。

教えることは学ぶこと —高3生が中3生に学習ボランティア—

12月26日と27日の2日間、受験を控えた第一中学校の3年生を対象に学習ボランティアを実施した。本校3年生の有志延べ20名が高校入試に向けた家庭教師役を買って出てくれた。

「自分も数学が苦手だったけど、合格目指して最後まで頑張った。みんなもあきらめないうで頑張る」とエールを送った。

小学生を対象とした夏休みの宿題お手伝いに続き、学習に関して地元貢献する活動の第2弾となった。おそらく大学生になったら家庭教師のアルバイトをする人もいるだろう。

教えることは学ぶこと。ボランティアは人のためであり、自分のためにするもの。そういう活動の原点を改めて感じた。



伝える使命！ 伝わる喜び！ —韓国とオンライン交流—

12月27日、1・2年生の希望者11名が韓国全羅南道のムンハン高校の生徒たちとオンライン交流を行った。事前に個別の自己紹介などを済ませており、今回はオンラインとはいえ、初の“対面”交流となった。



グループごとに相互あいさつを交わした後は、ペア同士の交流に。お互いの学校の様子などをスライドなどを使いながら英語でやりとりした。

韓国の学校は1月以降、試験や長期休暇に入るとのことで、今回の交流はいったんこれで終了する。次回の交流は新年度に入ってから予定。

今後はお互いの情報交換にとどまらず、SDGsなど共通のテーマで深掘りし、国境を越えての提言を一緒に作り上げられたらと思う。(関心のある人は英語科の先生へ！)

“ボランティアの母” 佐藤篤子先生 教育長表彰受賞！

本校の佐藤篤子先生が理科や家庭科の実習教師としての仕事、副担任としての優れたサポート、そしてこれまでのボランティア部への指導が高く評価され、令和4年度佐賀県教育委員会教育長表彰を受賞された。(右は子ども食堂ボランティア風景)

特に、ボランティア部の活動は広く地域に認められるようになり、“西高はボランティアが有名”とまで言われるようになった。

ボランティア部の活動は、今やオーダーを受けてお手伝いする作業的・奉仕的な活動にとどまらず、自分たちで企画提案し、地域に貢献する起業家的・自己啓発的活



動に展開中。「受賞は先生方やいい生徒に恵まれたおかげ。ボランティア部の活動は進化し、それが西高の伝統になればいい」と感謝と期待を語っていただいた。

【1月後半の主な行事】

- 1月16日(月) 共通テスト自己採点
- 20日(金) 進路講演会(3年)・英語検定(一次)
- 21日(土) 1・2年進研模試(2年は日曜まで)
- 24日(火) 1・2年早川氏講演